

日本財団新型コロナウイルス感染症対策整備支援(感染症指定病院)

事業概要

会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 令和4年3月25日

事業名: 新型コロナウイルス感染症対策整備支援(感染症指定病院)

事業ID: 2021-A015-019

施設名: 小林市立病院

代表者名: 小林市病院事業管理者 坪内 斉志

TEL: 0984 - 23 - 4711

E-mail: k_hosp@city.kobayashi.lg.jp

住所: 〒886-8503

宮崎県小林市細野 2235 番地 3

事業完了日: 令和4年3月17日

事業費総額: 5,225,000 円

支援金額: 5,000,000 円

自己負担額: 225,000 円

事業内容: 超音波診断装置の購入

当院では、総病床数 147 床の内、感染症病床を4床と感染患者が爆発的に増えた場合に入院させるための病床として4床の計 8 床を運用している。

しかしながら、慢性的な医師不足により、内科(循環器内科や呼吸器内科を含む。)の専門医は在籍しておらず、外科や救急科でコロナ患者の対応を行いながら、二次救急も行っている病院である。

新型コロナウイルス感染症の影響による財政難から、当院では、感染患者用診療機器と一般患者用診療機器を共有せざるを得ない状況にあったが、本事業(超音波診断装置の購入)により、感染患者用と一般患者用を区別し、感染隔離病棟内に配置することにより、二次感染のリスクを抑え、迅速な検査と診断及び急変時における迅速な救命措置が可能となるため、感染患者の重症化リスクを軽減し、医療スタッフの労務軽減と感染拡大防止の目的を達成しながら、これまでと同様に質の高い診療を提供することができる。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策の整備によって、以下の内容を達成している。

1. 新型コロナウイルス感染症患者(疑い患者等を含む。)における心肺異常疑い患者等の検査を行うことで、迅速な診断を行い、重症化へのリスク軽減に繋げること。
2. コロナ患者(疑いを含む。)に要する機器とすることで、医療スタッフへの感染暴露防止。
3. 感染患者が急変した際に迅速に救命措置を行うことへの対応。

【購入備品の写真】



【実際に活用している写真】

